

川崎益太郎 選

特選

一言が君に届かぬかき氷

呉市立川尻中学校三年 片岡 太希

【評】一言が言えない恋心。悶々としている作者。かき氷が「早くしないと溶けちゃうよ」と言っているかも知れない。

お年玉五千億円ほしいんだ

大竹市立大竹小学校四年 村尾 拓真

【評】お年玉に五千億円くれとか。何に使うのだろう。悪い事には使ってほしくないが……。末恐ろしい句である。

新米を夢見て食べる備蓄米

東広島市立向陽中学校三年 久田 悠月

【評】備蓄米しか口に出来ない日々。夢にまで出てくる新米願望。こんな社会に誰がした。

サンタさんこわれたゲームなおしてね

廿日市市立地御前小学校四年 末次 奏太

【評】 サンタにプレゼントとして、修理をお願いするというユニークな句。もしかしてサンタの正体を知っているかも。

未来みて勉強励む夏休み

廿日市市立大野中学校三年 藤原 愛理

【評】 こんなまじめな俳句もあるのかと感心した。本人の言葉でなく、周りから言われていることか。真実はどこに。

鰯雲夢と現実縦と横

あれあれれひなにんぎょうがほほえんだ

花火みて散りゆく君の恋模様

海開き男はみんな恋敵

拾う栗拾われまいとトゲむける

天の川一期一会のこの出会い

炎天下ヒット一本夢つなぐ

落ち葉ふみなんてすてきな効果音

雪の中君と初めて手をつなぐ

夏終わり母の怒号が鳴り響く

県立広島皆実高等学校一年 津村 昊和

廿日市市立地御前小学校二年 神崎 唯乃

尾道市立向東中学校三年 真山 公志

呉市立呉高等学校二年 外蘭 青斗

広島市立祇園東中学校三年 廣木 亮太

福山市立伊勢丘小学校六年 安田 栞理

英数学館中学校三年 桐山 昂大

呉市立呉高等学校二年 松宮 奈槻

呉市立吉浦中学校三年 野間 千夏

広島市立安佐中学校一年 河野遡太郎

雪がとけぼくの心もとけてゆく

廿日市市立地御前小学校六年 新見 義弘

さつまいもほかほかするよ心もね

廿日市市立地御前小学校三年 福田 琴葉

我君と星より遠き冬銀河

尾道市立尾道みなと中学校三年 池田 凜風

打ち上がる花火とともに打ち明ける

呉市立呉高等学校二年 高川 新菜

命つきセミのぬけがら残る意思

東広島市立高屋中学校三年 黒川 琉翔

ペン止まり未来の重さ春惜しむ

廿日市市立大野中学校三年 井上 美優

アブラゼミ短い命今灯す

廿日市市立地御前小学校四年 小山尚之助

曲がりつつどこか笑ったきゅうりかな

県立千代田高等学校一年 前 ひより

ころもがえきせつがわりの風物詩

坂町立横浜小学校四年 美奈 歩

香るたび焦りと勇氣沈丁花

廿日市市立大野中学校三年 田村 紫羽

川崎益太郎 選

特選

原爆忌平和の鐘にある余韻

福山市 渡辺 素子

【評】余韻という情に流されるような言葉に被爆八十年の艱難辛苦等を秘めて、平和の鐘は今日も鳴り、鳴らされる。

万緑や爆死の数の四捨五入

広島市 永井 勝弘

【評】命は地球より重く、四捨五入されるものではないが、爆死者には、この原則が通用しない。平和は遠い遠い。

拉致家族老いてなお待つ遠い春

広島市 正山 史明

【評】総理が又変わる。最優先課題とは口先だけ。老家族の辛労はいかほどか。政治の役目はどこにある。春が又遠退く。

原爆忌ひとりぼつちにしないでね

福山市 馬場 紫苑

【評】被爆八十年。夫婦でいられる日は後何年か。一緒に逝くのは無理でも、自分より先には逝かないで。最後のお願い。

まちぶせと繕ひ上手女郎蜘蛛

福山市 栗本 リカ

【評】女郎蜘蛛の生態を面白く表現した句。目を付けられると命が危なそうで恐い。男にとっては、恐ろしい句である。

入 選

合歡咲くや母に詫びたき事ひとつ

広島市 徳毛 佳美

ひまわりや娘の彼になっちゃった

安芸郡府中町 水野 英明

徘徊の猫と目が合ふ溽暑かな

広島市 熊谷 純

平和とは婿と夫の大昼寝

広島市 川手 和枝

恋しらず恋占いの桜貝

東広島市 天野 節子

原爆の逆火の如き酷暑かな

広島市 篠崎 筍井

難聴の吾は目で聴く蝉時雨

広島市 伊勢 眞介

父の日に父となる子の父の顔

福山市 久保 紘子

父母の言の葉包む柏餅

福山市 西山 小春

峡どこも青田となりて風の的

竹原市 前田美木枝

箒目の五線譜のごと落つ椿

尾道市 砂田 千春

台風の目の中どれも澄んでいる

広島市 河上 摩子

小さき葉の小さき氷柱に癒されし

庄原市 新宅 涼枝

老々や限界集落冬ざるる

広島市 永宗 啓司

朧月老いに試練のパスワード

広島市 小坂 修

楚々と咲くどくだみの白無心なり

竹原市 古田比呂子

父の日や抽斗奥のあんま券

広島市 金子 蒼

夏の雲川面に浮かぶ絵画なり

福山市 繁田 滋子

皺の手の皺に隠れし種を蒔く

福山市 瀬尾ちとみ

青年の清しき顔の蟬落ちる

広島市 白倉 靖子